

# かがやき 新聞 十一月号

京都市役所 文化市民局 地域自治推進室

京都市北部山間かがやき隊 京北担当

菅本 千尋

お問い合わせ(右京区役所 京北出張所)

電話(075)852-1811

E-mail [suqdc132@city.kyoto.lg.jp](mailto:suqdc132@city.kyoto.lg.jp)

## 京北の秋、黒田ふるさと祭り

10月30日、秋が深まる京北にて毎年恒例の黒田ふれあい祭りが開催されました。前日までは天候が心配されましたが、当日はすっきりとした秋晴れでした。今回のお祭りには事前打ち合わせから前日の会場設営、イベント当日はスタッフとして最初から最後まで参加させて頂きました。今年は「森の京都」ということもあり、黒田の方々が「森の京都」らしい展示を、ということでも、これまで使われることな  
く見る事の出来なくなった「きんま道(木馬道)」の再現や、大型のノコギリなど普段見る事の出来ない展示物がありました。地元で採れた料理の販売コーナーでは、猪鍋、猪肉の焼肉、鹿肉のワイン煮など黒田地区ならではのジビエ料理が並び、来場された方々からは「おいしい」「もっと食べたい」と評判の様子でした。黒田の方々はお祭りを主体的に楽しんでいて、最後の片付けまでもワイワイとにぎやかに、でも手際よく全員で取り組むのが印象的でした。一人ひとりがお祭りをよくしたい、と思う気持ちと、どうせやるのなら楽しもう！と行事へ取り組む気持ちが地域を束ね結束を強める大きな要素だと感じます。今年も良かったし来年はどんな風になるのか、と終わったばかりから気になってしまう、そんなお祭りでした。来年が楽しみです。



## 伏条台杉群見学ツアーへ

晴天に恵まれた京北の週末、黒田にある片波源流域にて「トレッキングde友活」というイベントが開かれ、私も参加してきました。このイベントの主たる目的は、トレッキングや食事会を通じて気が合う方がいれば、まずはお友達からはじめましょう、という婚活の友達版のような内容で約40名の方が参加しました。まずはガイドの方から伏条台杉群についてのレクチャーがあり、その後は各グループにわかれガイドの方の先導をしてもらいながら歩きました。てっきり大きな木が2、3本だけ残っているものだと思っていたので、大きな木が雄々しく林立している姿は立派で見応えがありました。参加した方からもこんなに立派な物が見られるとは思っていなかった、ましてや京都市の郊外で、という反応が多く、参加された多くの方が伏条台杉の迫力に魅了されていました。まだほとんどの方に認知されていない、京北の豊かな自然が育んだ伏条台杉群。環境保護など課題はあるかもしれませんが、屋久島の杉のように注目され、いつの日か京北を代表する観光名所の一つになればと思います。

